

# KiKiの広場

2018年 10月 1日  
cafe NO.96  
KiKi



一時期ジャングルのようにになっていた入口アーチのジャスミンですが、この夏の酷暑もあり半分以上が枯れてしまいました。気が付かない間に蜂の巣も出来ていたり（誰か気づきなさいよ！！って話ですが）、ちょっとかわいそうな有様になってどうしていいのか・・・(^^)。そこで、カフェスタッフのNさんと、いつもヒストリアの駐車場や花壇をきれいにしてくださっているNさんのお母さんが、ジャスミンをきれいにカットしてスッキリさせてくださいました。めちゃくちゃさっぱりしたアーチですが、ジャスミンの芽はしっかり残っているのできつとまた、蔓が伸びてきれいな花を咲かせてくれると思います。来年が楽しみです。♡

**10月の予定**

休館日	11日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	8日(月)・11日(木) 12日(金)・29日(月)



## 「今月のケーキ」・・・「紫いも&かぼちゃのケーキ」 350円



ブラックココアスポンジに、濃厚なかぼちゃクリームをサンド。色鮮やかな紫いもクリームがたっぷり絞られています。かぼちゃダイスと黒ごまをトッピングした、色鮮やかな秋の味覚ケーキです。



## 今月のお気に入り・・・「秋を楽しむ絵本」

～「モミジのつばさ」「ドングリとリス」「やまいもの日」「さんまのおふだ」「うさこちゃんびじゅつかんにいく」 などなど ～



理学博士の多田多恵子さん監修の写真絵本「花のたね・木の実のちえ」シリーズから、2冊ご紹介いたします。「モミジのつばさ」は、春の青々としたモミジから、花をつけ実がなり種になって、とモミジの1年が描かれています。「つばさ」とは種のことです。羽の形をした種が風に乗って、ひらひらくるくる舞う姿が素敵です。

「ドングリとリス」は、ドングリが色々な生き物の力を借りて、子孫を増やしていく様子がよくわかります。カケスがくわえて飛んでいくところや、リスがどんぐりのどこをどのように食べるのか、珍しくて面白い写真がたくさんあります。雑木林の四季がとても美しく、訪ねてみたいくなります。



## 今月の本棚・・・「なかえよしを&上野紀子の世界」

～「ぞうのボタン」「ねずみくんのチョコッキ」「きこえてくるよ」「おつむてんてん」「ペンギン博士」「ねみちゃんとねずみくん」～



「ねずみくんシリーズ」のなかえ&上野夫妻の特集です。実は最初に世に出たのは字のない絵本の「ぞうのボタン」。しかもニューヨークで、「ELEPHSNT BUTTONS (エレファントボタン)」として1973年に出版されました。その翌年からねずみくんシリーズが始まります。最初の作品がぞうからねずみまで小さくなっていくお話だったので、今度はねずみからぞうがいいかなということだったそうです。我が子も大好きだった「ねずみくんのチョコッキ」、何度読んでも同じ場面で必ずケタケタ笑っていました。ちなみにねずみくんの身長は決まっています、2cm6mmだそうです。(\*^\_^\*)



## ほっとフレイク

胡蝶蘭その8・・・調子に乗って・・・!(?! 3度咲きに成功した胡蝶蘭ですが、その腕?を買われて、「ここに置いておけばまた咲くかも」と、前回いただいた同じコミカレの先生から再び胡蝶蘭を1鉢いただきました。3度咲きの胡蝶蘭については、鉢の植え替えもしないままなので、さすがに4度目は難しいかなと少々弱気ですが、新しい鉢については何としてもまた咲いて欲しいなと思います。ただ2鉢お世話していると、同じ胡蝶蘭の鉢でも表面の湯気が全然違って、水やりのタイミングが一緒ではなく、鉢の様子を見ながら試行錯誤している状況です。前と同じようにすればと簡単に思っていたので、「えっ?!」って感じです。人間と同じように植物にも個性があるんだなあとしみじみ思いました。さてさて、どうなることやら・・・

